

中日新聞

特別号

〈企画・制作／中日新聞広告局〉

山・鉾・屋台行事 無形文化遺産登録



ユネスコ無形文化遺産 世界中のさまざまな無形文化遺産の認知度を高め、保護していくという理念のもと、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）が2003年の条約でつくった制度。主な分野と

としては、祭礼行事や伝統工芸技術など5分野で、各国から推薦されたものを審査し、登録する。現在、制度には170カ国が参加、前回までで336件が代表一覧表に記載されている。

アデイスアベバ（エチオピア）で開催の第11回ユネスコ政府間委員会において、日本の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産の代表一覧表に「記載」との決議がなされた。「山・鉾・屋台行事」については、国指定重要無形民俗文化財を一括して提案するもので、全国に所在する33件の行事のうち、愛知県は全国最多の5件が所在している。登録により文化的価値が広く認識されるとともに、保存・継承の取り組みへの促進、地元の活性化や、伝統文化全体への波及効果なども期待される。登録が決まった地元では、関係者や住民らが喜びを分かち合った。



愛知県知事 大村 秀章

愛知県に所在する5件の山車まつりがユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、県民の一人として大いに誇らしく思っております。

これを機会に山車まつりが世界的に評価され、国内においても文化的価値が広く認識されることで、一層の保存・継承が促進されることを願っております。

愛知県としましては、今後も保存団体や関係市町の皆さんと手を携えて、愛知の山車文化の発展に向け取り組んでいきたいと考えております。

尾張津島天王祭

〈津島市・愛西市〉



600年近く続く津島神社の祭礼で、7月第4土曜に宵祭が、その翌日に朝祭が行われる。

宵祭では、旧津島5カ村から5艘が400個余のちようちんを飾り、月夜の川面に浮かぶ姿は幻想的な世界を描き出す。

朝祭では、市江車が先頭に加わり、能人形を飾るなど装いを新たにした5艘とともに川をさかのぼる。途中、市江車の鉾持ち衆が川に飛び込む姿は勇壮で、楽を奏でながら絢爛豪華な車楽舟が進むさまはあたかも絵巻をほつふつさせ、観衆を魅了する。

知立まつり

〈知立市〉



知立神社の祭礼である「知立まつり」は江戸時代から続いており、2年に1度行われる本祭では豪華絢爛な5台の山車が奉納され、境内では「山車文楽とからくり」が奉納上演される。山車の上で人形浄瑠璃を上演する山車文楽と浄瑠璃に合わせた芝居形式で上演する山車からくりは、その上演形態の独自性から平成2年3月に国重要無形民俗文化財に指定されている。次回本祭は、平成30年5月2日、3日。



華やかな山車が古い町並みを巡行することで行われること有名で、神武天皇の上陸伝説にちなみ、5輛の山車が潮干の浜へ曳き下ろされることから綱神社の祭礼として寛永12（1635）年に華やかな幕などで飾られ、精巧なからくり人形の技芸も奉納される。300年の長きにわたる祭の伝統と風格は、祭礼の随所に見ることができ、今日に至るまで、強固な「組」組織によって継承されている。

犬山祭

〈犬山市〉



「潮干祭」は5月3日、4日に執り行われる。半田町並みを巡行することで行われること有名で、神武天皇の上陸伝説にちなみ、5輛の山車が潮干の浜へ曳き下ろされることから綱神社の祭礼として寛永12（1635）年に華やかな幕などで飾られ、精巧なからくり人形の技芸も奉納される。300年の長きにわたる祭の伝統と風格は、祭礼の随所に見ることができ、今日に至るまで、強固な「組」組織によって継承されている。

華やかな山車が古い町並みを巡行することで行われること有名で、神武天皇の上陸伝説にちなみ、5輛の山車が潮干の浜へ曳き下ろされることから綱神社の祭礼として寛永12（1635）年に華やかな幕などで飾られ、精巧なからくり人形の技芸も奉納される。300年の長きにわたる祭の伝統と風格は、祭礼の随所に見ることができ、今日に至るまで、強固な「組」組織によって継承されている。

亀崎潮干祭

〈半田市〉



須成祭は、須成地区の氏神である富吉建速神社・八剣社両社の祭礼で、400年余りの歴史があるとされる。夏の疫病退散と五穀豊穡を祈願して行われ、8月第1土曜・翌日曜に宵祭・朝祭があり、宵祭では巻藁船が、朝祭では人形を乗せた車楽船が、まちの中心を流れる蟹江川に浮かび上っていくさまは優美である。朝祭翌日には、祭りのご神体として祀られた葎に災厄を託して川へ流す「神葎流し」がひっそりと行われる。



須成祭は、須成地区の氏神である富吉建速神社・八剣社両社の祭礼で、400年余りの歴史があるとされる。夏の疫病退散と五穀豊穡を祈願して行われ、8月第1土曜・翌日曜に宵祭・朝祭があり、宵祭では巻藁船が、朝祭では人形を乗せた車楽船が、まちの中心を流れる蟹江川に浮かび上っていくさまは優美である。朝祭翌日には、祭りのご神体として祀られた葎に災厄を託して川へ流す「神葎流し」がひっそりと行われる。